

# ゴミを<sup>か</sup>買わないお<sup>か</sup>買<sup>もの</sup>物 ~ グリーンコンシューマーになろう の学習内容

## 容器と包装の値段

みなさんは買い物をするとき、容器や包装にどれだけお金を支払っているか、考えたことがあるでしょうか？例えば、白色の食品トレー（中型）は4円、柄付きトレー（中）・約15円、カップラーメン・約40円、ペットボトル・約62円、ポンプ式シャンプー・約137円というように、容器や包装にもお金はかかっています。不必要な容器や包装を減らすだけでも、ものの値段はずいぶん下げられるのかもしれませんが、環境負荷を減らすという視点だけではなく、容器や包装のコストという視点からも、このテーマを考えてもよいでしょう。

## お店を変えるグリーン購入

再生紙で作られたトイレトーパー、ダイオキシンの発生しにくいラップフィルム、詰替用のパックが使える洗剤やシャンプーなど、最近では環境に配慮した商品が増えています。学校や子どもたちの家の周辺ではこうした製品がどのくらい見つかるか、スーパーマーケットやコンビニエンスストアでは、どのくらいこうした商品を扱っているか、調査をしてみましょう。

環境に配慮した製品、体に害を与えない安全な食品や製品を選ぼうとしても、いつもいくお店にはそうした製品が置いていないという場合があるかもしれません。以前は、その理由として、商品のニーズがないからといわれました。京都のNPO「環境市民」の調査によると、こうしたお店の姿勢を変えていくには、利用者の5%が要求するようになればよいということです。「環境市民」では、京都市内の全小売店を対象として、環境と健康に配慮した商品販売を行っているかどうかを調査し、その結果を公表しています。さらに、「グリーンコンシューマー全国ネットワーク」というNGOでは、全国のスーパー・コンビニエンスストア・生協を対象として、同様にエコロジー度チェックを行いました。着目した点は、以下の通りです。

### 購入できる商品のチェック

- 1) 古紙・再生紙100%のトイレトーパーやノート
- 2) 塩ビなし消しゴム
- 3) 電球型省エネ蛍光灯
- 4) 選択・台所用石鹸
- 5) 石鹸シャンプー
- 6) 石鹸歯磨き・界面活性剤なしの歯磨き
- 7) 有機農産物の信頼性対策が優秀
- 8) 合成添加物を含まないハム
- 9) 遺伝子組み換え原料不使用
- 10) 無添加食パン
- 11) 無添加ポリエチレンラップ
- 12) レジ袋有料
- 13) はかり売り

### お店の販売姿勢

- 1) 安全な食べ物の販売
- 2) ダイオキシン対策
- 3) 地球温暖化対策
- 4) 地域との交流

子どもたちとともに、これ以外にもチェックできる項目がないかどうか、話し合ってください。また、こうしたチェックリストをもとにして、実際に学校や家の周辺のお店を見学することを計画・実行して下さい。

こうした試みを通じて、グリーン購入のあり方を学習することが大切です。

・子供用テキストにある「みんなはどっち」の絵の中で、

- 1) すぐにゴミになるもの
- 2) リサイクルがうまくできないもの
- 3) 使うと川や海を汚すもの
- 4) 大切な資源をむだ使いしているもの
- 5) 使ったり食べたりすると体によくないもの

などをあげてもらい、なぜそうなのかを一緒に考えてみて下さい。これ以外にも、前ページで紹介した「エコロジーチェック」の内容も参考にして、グリーンコンシューマー的な製品とそうでない製品をいくつか見つけられるか、お店の見学、家庭での買い物の際に考えさせるように促して下さい。

・商品のどこを見れば参考にできる情報があるのかも、話し合ってください。いくつかの商品を例にして、品質や品質・原材料表示などを比較してみるのも良いでしょう。学校版ISOとの関係では、学校で購入している備品や消耗品を、子どもたちとチェックすることもできます。

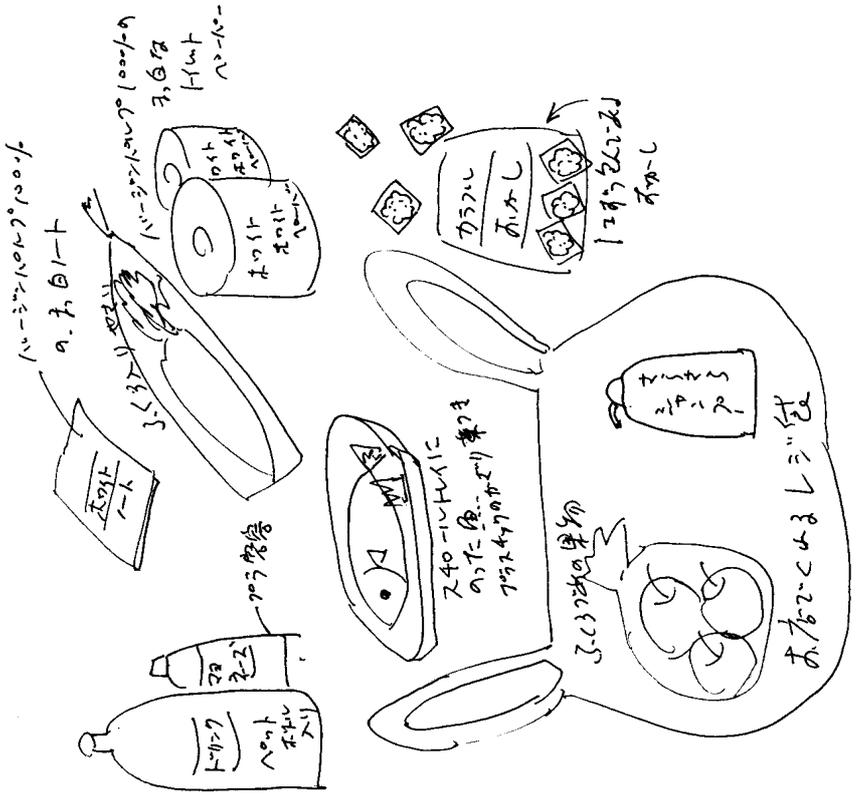
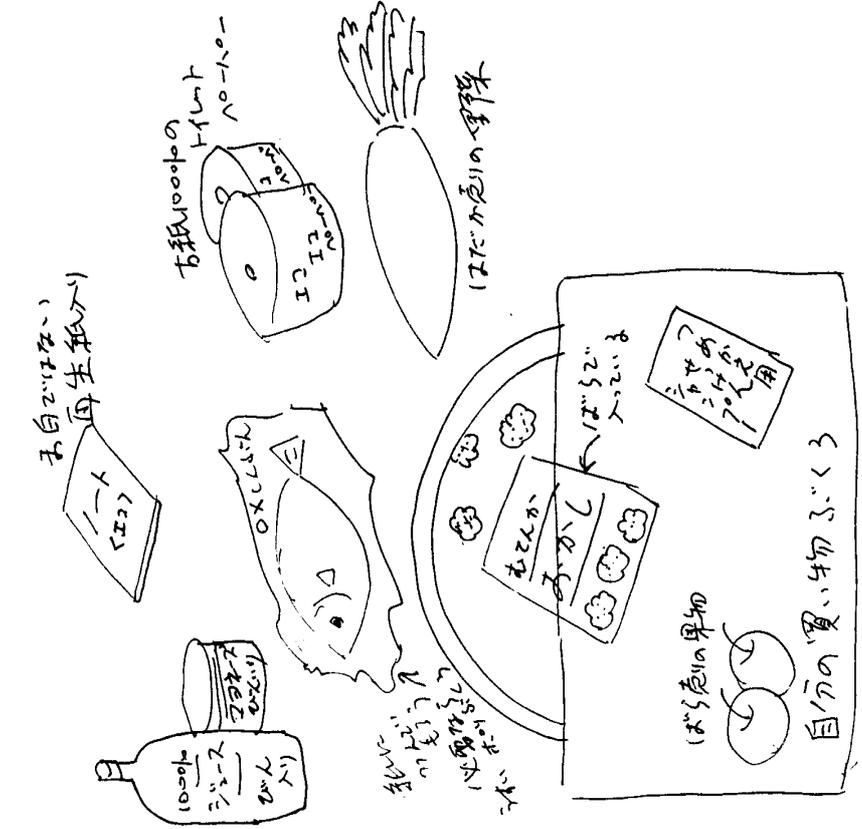
・こわれた机や椅子の修理を下さる用務員さんなどのお話も、ぜひ子どもたちと一緒に聞いて、昔ながらの「ものを直して大切に長く使う」というライフスタイルの再評価をして下さい。最近では、地域のコミュニティの中で、おじいさんやおばあさんから昔のライフスタイルを話してもらえる場を設けているところもあります。地元でそうした場所がある場合は、子どもたちと利用することもよいでしょう。

・発展的な取り組みとしては、スチューデント・カンパニー・プログラム(SCP)を活用して、子どもたち自身で、環境に配慮した商品としてどんなものが企画できるかを体験してもらうこともできます。

# みんなは どっち??

グリーンコンシューマーズの  
お買い物

ふくろう人の  
お買い物

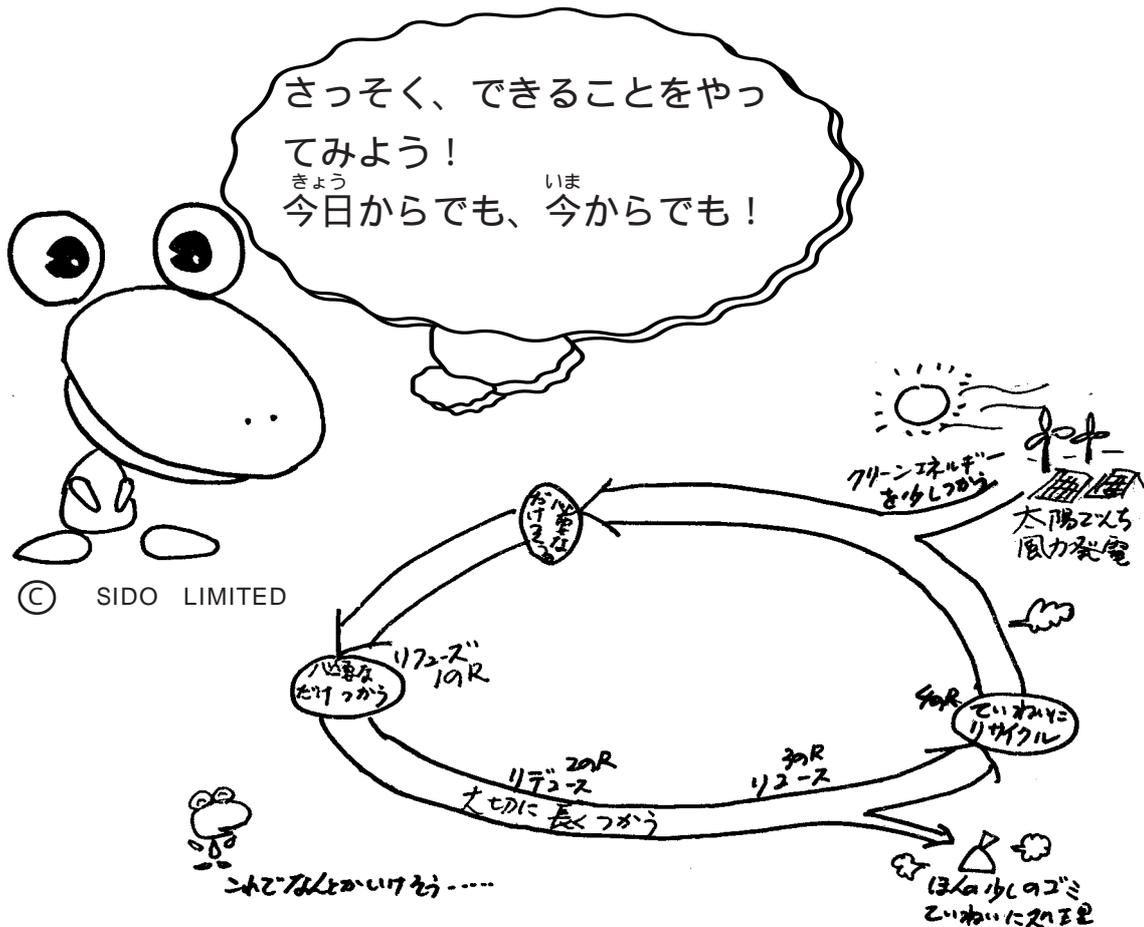


# たくさんの人に伝えよう！

このテキストとビデオで、みんなはいろんなことを考えたり調べたり、話し合ったりしてきたね。みんながこれからつくっていく循環型社会ってどんなものか、わかってきたかな？

せっかく学んだり考えたりしたことだから、今度はなるべくたくさんの人に伝えてあげようよ。たとえばものを作る会社やお店のの人に「こういう環境にやさしいものをつくったり売ったりしてください」って、みんなの手紙を書きつけていうのはどうかな？

お父さんやお母さん、役所の人たちにも、「こうするとゴミが減るんだよ」って、みんなのアイデアを伝えるのもいいね。



## たくさんの人に<sup>ひと</sup>伝えよう！ の学習内容

考えたこと、学んだこと、調べたことを、学内だけではなく、地域のコミュニティや行政、商店などへも発信する事も考えて下さい。最初に述べたように、このテキストとビデオを通じて進めていただきたかったことは、子供たちと共にすすめる「未来学習」でした。いろいろなことを話し合い、調べたりした結果、子供たちは予想もつかない発想をするかもしれません。その中には、学校や家庭だけではなく、企業や自治体で取り入れてもよいアイデアがないでしょうか？

このテキストで紹介した水俣市の学校版ISOは、市役所の方が中学校で講演した内容を受けて、生徒たちが話し合った結果、具体的な取り組みを行いたいということで実現したものです。

大人たちも「こうなるといいけれど・・・」と黙っていても、なかなかその考えを表明する機会がなかったり、あきらめたりはしていなかったでしょうか？ぜひこの機会に、子供たちといっしょに自信を持って様々な働きかけをしてみてください。

このテキストの中では、学校版 ISO の事例を紹介しました。この他にも、

- 1) お店のエコロジーチェックの結果を、学校や家庭でも使えるようなパンフレットにして地域のコミュニティセンターなどで見てもらう。
- 2) 学校のホームページや広報誌などで成果を紹介する。
- 3) 見学・調査に協力してもらったお店や工場に、まとめた結果や感想を、お礼と共におくる。

などの活動も試みて下さい。

さらに可能なならば、行政機関や企業、商店などで積極的にグリーン購入を促進できるように働きかけても良いでしょう。子どもたちからの要望が、一つでも二つでも受け入れられるとしたら、循環型社会へ少しでも近づくことができます。

@このテキストでは、子供用テキストの各ページで、どのようなことを学習してほしいか、あるいは、どのような情報を参考にさせていただけるかを紹介してきました。その他にも、それぞれの内容についてさらに詳しい情報を得るための参考になるホームページや書籍を最後にまとめて掲載しています。必要に応じてその内容も参考にしてください。

## 環境ラベルについて

環境ラベルとは、製品やサービスの提供者がその製品の環境影響に関わる情報を、消費者に伝えるための伝達手段であると捉えられます。製品やサービスの環境に与える総合的な影響についての広告、告知、説明などを、的確にわかりやすい表現方法（シンボルマーク・言葉・数値など）を使って示すための制度であり、ラベルの付け方はISO（国際標準化機構）14020番台に規格化されています。消費者や第三者に、情報を裏付ける証明や判定基準に関する情報をいつでも公開・提供できるようにしておくことがその目的といえるでしょう。

環境ラベルには次のような3種類のタイプがあります。

**タイプ Ⅰ**：第三者認証機関、例えば（財）日本環境協会などによる認定基準に合致し、認可を受けたマークによって環境ラベルの一般原則に基づく製品・サービスであることを証明するものです。ただし製品に直接記載・添付される情報量は少ないラベルです。

**タイプ Ⅰ** のラベルの例



ブルーエンジェル  
（ドイツ）



環境チョイス  
（カナダ）



ノルディクスワン  
（北欧）



グリーンシール  
（アメリカ）



エコマーク  
（日本）

**タイプ Ⅱ**：自己宣言により環境主張するもの。自己の製品やサービスの環境情報のすべてが含まれ、特に環境に関する広告や宣伝に影響するものです。環境情報として使われている12項目の言葉に定義付け（用語の使用法・限定条件・評価方法）をして示しています。

**タイプ Ⅱ** のラベルの例（メビウスループ）



**タイプ Ⅲ**：ライフサイクルアセスメント（LCA）手法を用いて、原料採取から製造 使用 廃棄 リサイクルに至るまでの製品の生涯にわたる環境負荷を、定量的に数値として情報開示するものです。わかりにくい面もありますが、提供される情報量は多く詳細で、絶対適評かが可能。キャノン、ミノルタ、リコーなどの製品環境情報データシートなどがこれに該当します。

日本でよく見かける環境ラベルについての詳細は、<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html> をご覧下さい。

## 拡大生産者責任（EPR）

経済協力開発機構（OECD）が提唱した、廃棄物を削減するための政策の一つです。OECDは、加盟国政府向けのガイダンスマニュアルを発表し、その中で次のように解説しています。

EPRとは、「製品に対する、物理的、または財政的な生産者責任を製品のライフサイクルにおいて使用済み段階まで拡大すること」としています。つまり使用済み製品の処理または処分に対して生産者が、物理的、財政的に相当程度の責任を負うべきであるという考え方です。このような責任を生産者に負わせることによって、発生源における廃棄物の発生抑制や、環境負荷の少ない製品設計を生産者自らが行うように進めることが、効果的であるとするものです。

この政策の重要なポイントは次の2点です。

- 1）製品の廃棄や処理処分に関する、物理的・財政的な責任のすべてまたは一部分を、地方自治体から生産者へ移すこと。
- 2）環境配慮型の製品設計を行うよう、生産者に動機を与えること。

### 参考にできるウェブサイト・書籍一覧

ホームページ：

EIC ネット <http://www.eic.or.jp/>

エコシティー 21 <http://www.ecocity21.com/>

エコどこなび <http://machi.goo.ne.jp/eco/>

エコロジーオンライン <http://www.eco-online.org/index.shtml>

エコロジーシンフォニー <http://www.ecology.or.jp/index.html>

化学物質の環境汚染 <http://www.kiken-kaihi.org/doxin.html>

環境影響と効用の比較評価に基づいた化学物質の管理原則 <http://www.kan.ynu.ac.jp/masunaga/rmg/hpmasu.html#dxanal2>

環境学習広場 <http://www.ecosanc.or.jp/recycle/r02-03.html>

環境関連サイトリンク集（経団連） <http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/topics/kankyo/link.html>

環境情報ガイド <http://www.eic.or.jp/eig/>

環境政策・経済学会 <http://www.soc.nii.ac.jp/seeps/index.html>

（株）環境総合研究所 <http://www.eri.co.jp/>

環境を考えるページ ECO5 <http://home.interlink.or.jp/tsark/opinion/environment/index.htm>

グリーン購入ネットワーク <http://eco.goo.ne.jp/gpn/index.html>

自然環境フォーラム <http://www.nifty.ne.jp/forum/fenv/indexinr.htm>

ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 <http://www.kokumin-kaigi.org/>

ダイオキシン関連情報サイトへのリンク <http://www.nihs.go.jp/cheminfo/link-dioxin.html>

WWF ジャパン <http://www.wwf.or.jp/wetland/decreasefrog.htm>

東京都立衛生研究所 <http://www.tokyo-eiken.go.jp/>

2 特集:可燃性廃棄物を熱利用する廃棄物焼却処理技術の動向と課題 <http://www.nistep.go.jp/achiev/ftx/jpn/stfc/stt003j/feature1.html>

- 廃棄物に関する都市政策研究会平成9年度報告 - <http://www.mayors.or.jp/opinion/teigen/haikibutu/haikibutu-index.html>

包装と廃棄物・環境の情報サイト（日報） <http://www.nippo.co.jp/>

両生類保全研究資料室 <http://www.hc.keio.ac.jp/fukuyama/frogs/>

書籍：

奪われし未来 増補改訂版 2001年 シーア・コルボーン他 翔泳社  
エコライフ ドイツと日本どう違う 2003年 高松平蔵・高松アンドレア 化学同人  
エネルギーと私たちの社会 - デンマークに学ぶ成熟社会 2002年 ヨアン・S・ノルゴー/ベンテ・L・クリステン  
セン 新評論  
ガス化溶融炉って何なんだ！ - ごみ処理新技術の落とし穴 律川敬 止めよう！ダイオキシン関東ネットワーク発行  
環境共生型社会のランドデザイン 2003年 月尾嘉男監修 NTTデータ経営研究所 i-community戦略センター  
編 NTT出版  
環境技術で生き残る500企業 1999年 武末高祐 ウエッジ  
環境と健康のためのものえらび店えらび グリーンコンシューマーガイド 1999・京都 1999年 環境市民  
環境マーケティング大全 2002年 大橋照枝 麗澤大学出版会  
グリーンコンシューマーになる買い物ガイド 1999年 グリーンコンシューマー全国ネットワーク 小学館  
新版 子どもにできる地球にやさしい24時間 1998年 林佳恵・根本悦子・天笠啓祐他 学陽書房  
サステナブルカンパニー 2001年 山本良一 ダイヤモンド社  
産廃コネクション 2002年 石渡正佳 WAVE出版  
持続可能な社会をめざす - 大量リサイクルでは資源循環はできない 2001年 中村正子 つげ書房新社  
戦略経営環境エコデザイン/ベストプラクティス100 1999年 山本良一 ダイヤモンド社  
ダイオキシン 1999年 宮田秀明 岩波書店  
ダイオキシンから子どもを守る100の知恵 宮田秀明(監修) 主婦の友社  
ダイオキシン類対策 第2次提言・食品母乳対策 1999年 ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議資料  
だれでもできる生ゴミ堆肥化大作戦 1999年 有機農産物普及・堆肥化推進協会(編) 合同出版  
地球環境報告 1997年 石弘之 岩波新書  
地球環境報告II 1999年 石弘之 岩波新書  
地球と生きる133の方法 2002年 アースデイ21編 家の光協会  
地球と子どもたちへの環境パスポート 今すぐできる30の方法で地球を救おう 2000年 (株)柳田耕一(監修)  
ほんの木  
21世紀のライフスタイル1 ゴミ・リサイクル・ダイオキシン 1999年 北野大他 研成社  
21世紀のライフスタイル2 環境・くらし学 2000年 北野大他 研成社  
21世紀のライフスタイル3 循環型社会への提言 2002年 北野大他 研成社  
プラスチック 三島佳子(日本消費者連盟監修) 2001年 現代書館  
プラスチックゴミの危うさ - 化学の眼でみた焼却・埋立・リサイクル 2000年 安東毅 自治体研究社  
弁護士が見た北欧の環境戦略と日本 - 「予防原則の国」から学ぶもの 2001年 関東弁護士連合会公害対策・環境保  
全委員会編 自治体研究社  
水俣の悲劇を繰り返さないために - 水俣病の経験から学ぶもの 2000年 橋本道夫(編) 中央法規  
みんなではじめる環境イエローページ 1999年 沼澤将夫 NECクリエイティブ  
宮田秀明のダイオキシン問題Q&A 1998年 合同出版  
よくわかるダイオキシン汚染 1998年 宮田秀明 合同出版  
リサイクルしてはいけない 2000年 武田邦彦 青春出版社  
リサイクルのしくみ 入門ビジュアルエコロジー 1998年 中村三郎 日本実業出版社  
浪費が止まるドイツ節約生活の楽しみ 2000年 サンドラ・ヘフェリン 光文社

雑誌：

環境会議(宣伝会議)・環境ビジネス(宣伝会議)・日経エコロジー(日経BP社)・環境自治体(日本工業新聞社)

ビデオ・テキストを利用した授業計画案

時間	日次（「子供用テキスト」）	教師の支援	学習アイテム	評価の視点	活動の主旨
1時間	10年後のみんなはどんな社会に生きているの？	この学習には失敗がないこと、正しい一つの答えは用意されていないことを伝える。	テキスト・ビデオ	未来学習という視点を意識づけられたか？	この学習では、一つだけの正しい答えは用意されていないことを、教師も生徒も確認すること。10年後、20年後の未来を自分たちでつくっていくという認識を共有すること。
3時間	「家と学校のゴミをチエックしてみよう」～「いま、日本のゴミ問題はどんなになっているの」まで	ビデオに加えて、地元の見学も紹介する。 生徒とともに、楽しみながら身の回りのゴミを調べる	ビデオ・テキスト・インターネット・関連図書 テキスト	ゴミ問題の現状を理解したか？ 自分の生活とゴミ問題の関係を理解できたか？	日本全体や地域の自治体などで排出されるゴミの種類と量、将来の見通し、循環型社会への移行の必要性を理解する。 家庭や学校から排出されるゴミの種類と量を調べ、その行方がどうなるか、処理の仕方と生活との関係を理解する。
1時間	ダイオキシンってどんなもの？	見学先の決定と・見学内容の確認など 科学的知見をわかりやすく伝える	見学先の資料 ビデオ・テキスト・インターネット・関連図書	同上 ダイオキシンの特徴を理解できたか？	家庭や学校から出されたゴミがどのように処理されていくのか、あるいは商店で販売されているものの中からどんなものがゴミとなるのかを、見学や調査を通じて理解する。 ダイオキシンという物質の特徴～超微量で人体に悪影響を及ぼすこと、ゴミ焼却によって発生すること、生態系を通じて濃縮されること、胎児や幼児にも母親から渡されることなどを理解する。
1時間*1		課題の列挙と問題点の整理	テキスト・ビデオ		四次までで学習した内容をまとめて、日常生活から出てくるゴミの種類や量、それを処理する場合の問題点、ゴミをへらすための課題を考える。
2時間	「4つのRについて考えてみよう」～「どんなリサイクルすればいいの？」まで	具体的な事例の紹介	テキスト・インターネット・国民会議員からの講師紹介など	4Rの内容を理解できたか？	ゴミ処理の現状から、循環型社会への転換のために必要な4R（Refuse, Reduce, Reuse, Recycle）の考え方を学習する。特に4Rの優先順位、リサイクルの問題点、リデュースを阻む要因などについて、理解を深める。
2時間*2	「ISO14001って何？」～「水俣のお友達が取り組んでいるISOはどんな内容？」まで	学校全体での取り組み方を考えて、できるものを実行する。	ISO14001についての講師紹介	環境管理システムの考え方を理解できたか？	ISOとはどんな考え方で、すでに実行されている事例にはどのようなものがあるかを学習する。理解を深めるために、考え出されたプログラムを実行する。
2時間	「ゴミにならないうものつくり」～「ゴミを買わないお買い物」まで	企業や店舗など見学先・見学の確認など	ビデオ・テキスト・インターネット・国民会議員からの講師紹介	グリーンコンシューマーのあり方を理解できたか？	環境に配慮した製品にはどのようなものがあるか、そうした製品の販売・購入を促進するにはどうしたらよいかを理解し、実行する。
1時間	たくさんの人に伝えよう	学習成果のアウトプット作成	ビデオ・テキスト・インターネット・関連図書	将来に向けての具体的な行動につながったか？	将来あるべき循環型社会の具体的なイメージを持って、自分たちがどのように行動していくとよいかを理解する。さらに、家庭や学校でその行動を実行できるように働きかける。

\*1) ゴミ問題のまとめとして1時間をとるようにしましたが、その前の3時間の中でまとめてしまうこともできます。

\*2) ISOの内容は、全体の時間を勘案して別のプログラムとして検討していただいてもかまいません。

この環境教育ビデオセット製作に当たって、以下のみなさまから取材へのご協力および貴重なアドバイスをいただきました。多くの方のお力添えで完成できましたことを、スタッフ一同、深く感謝しております。このページを借りて心よりお礼を申し上げます。

個人：五十音順

青木照美（神奈川県鎌倉市） 秋元智子様（東京都北区） 阿部哲嗣様（東京都港区） 有賀皓一様（山梨県東八代郡） 井草志乃様（埼玉県所沢市） 石井迪男様（山梨県甲府市） 石渡戸真由美様（東京都目黒区） 栄永徳博様（熊本県水俣市） 大野郁宏様（東京都北区） 大原俊子様（神奈川県厚木市） 北浦恵美様（埼玉県所沢市） 関洋一様（熊本県水俣市） 沼田悦子様（熊本県水俣市） 福岡満様（熊本県水俣市） 藤巻真史様（山梨県八代郡） 淵上学様（熊本県水俣市） 船本正信様（東京都練馬区） 古屋安清様（山梨県中巨摩郡） 前田妙子様（埼玉県所沢市） 松浦満里子様（神奈川県茅ヶ崎市） 丸田清隆様（熊本県水俣市） 溝口昭二様（熊本県水俣市） 山本良一様（東京都港区） 吉原充雄様（山梨県甲府市）

取材協力：五十音順

有賀健康農園、北区リサイクラー活動機構、国母工業団地工業会、ごみ減量女性連絡会議（水俣市）（株）西友（環境推進室・LIVIN OZ大泉店）（株）田丸、東京都23区清掃一部事務組合、東京都新江東清掃工場、水俣市役所、水俣市資料館、水俣エコショップ、（株）横河電機（総合研究所）（株）リコー

助成金

この環境教育ビデオセットは、（株）日興コーディアル証券、（株）日興アセットマネジメントのご協力でWWFジャパンにより設立された「WWF・日興グリーンインベスターズ基金」、および（株）イオン・フォレストにより設立された「ザ・ボディショップ基金」の各助成金の一部を当てて製作されました。

編集：ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 環境教育チーム（制作・編集責任者：山田久美子・松原健司）（〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-29-5, ダイカンプラザ1F, 環境市民ひろば内 電話：03-5907-1411, ファックス：03-5907-1412, Eメール kokumin@attglobal.net）

制作協力：SIDO（東京都杉並区高円寺南4-2-9, トリイビル 電話03-5378-2061）

イラスト協力：井草志乃（エコネットとみおか）、北浦恵美（中新井の環境を考える会）、山田久美子（ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議）

印刷：大日本印刷

★ 本書を無断で複写・転載することを禁じます。ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 ©

改訂版 ver. 1.1 2003年7月7日